

那加三だより

那加第三小学校
学校だより
R5. 12. 25



学校の教育目標 「かしこく ゆたかに たくましく」

←学校ホームページで、子ども達の姿をご覧ください <http://edu-kakamigahara.com/naka3sho/>

ボランティアの心が広がる那加三小

那加三小の渡り廊下（宝物ギャラリー）には、ボランティア手帳で50回のボランティアを終えた子どもたちの顔写真が貼ってあります。ボランティア手帳は、各務原市の小中学生が手にしているものです。自分から行ったボランティア活動を記録して、認め印をもらい、自分の努力の積み重ね記録としています。

那加三小では、今月、掲示した顔写真が200枚を越え、ボランティア手帳申請中の児童を合わせると、全校児童の半数以上が50回達成の節目を迎えたこととなります。現在、達成を目指して活動している子どもも多くあり、とても素晴らしいことです。



ボランティア活動は、家庭でのお手伝いから始まることが多く、家族の方の「ありがとう」「助かったよ」という温かな言葉かけが、子どもたちの自己有用感を高めています。

また、学級でのプリント配りや、整理整頓、用事の手助けなどが、「他者の役に立つ」という経験につながっています。

そして、あいさつ運動や継続的な校庭の清掃など、特定の相手だけではなく、広く全体に奉仕することを通して、貢献できる自分のすばらしさに、子どもたちは気づいていきます。

子どもたちは、高いボランティア意識を持ち、誰かの役に立つことや、社会に貢献することの価値を学んでいます。那加三小の子どもたちの素直な心が、ボランティア活動の大切さを受け止めています。

冬休みこそ、ボランティアの心を家庭で生かそう

冬休みは家庭での仕事や役割が多く、地域の方とのあいさつなどの機会も多くあります。子どもたちが学校生活で培った、ボランティアの心を生かす絶好の機会です。家の人から頼まれたお仕事だけでなく、自分の役割としての仕事、自分から見つけてする奉仕活動など、学年に合った家庭ボランティアをぜひしてみましょう。充実した冬休みになることを楽しみにしています。（文責 校長 加藤浩幸）